

平成25年度

創立34年



安積三小 学校だより

三しょうの丘 No.28

(承認 賞賛 奨励)

平成26年 3月5日

安積第三小学校



思いやりの心
 人は喜びを分かち合えば
 喜びは倍になり
 悲しみを分かち合えば
 悲しみは半減する
 人にされていやなことは
 人にはしない
 人にされてうれしいことは
 人にもしてあげる
 時代が変わっても
 国が異なっても
 身につける不易の心
 それは思いやりの心

●●●●● 子どもの目の高さで考える ●●●●●

授業の中での子ども達の表情は実にさまざまです。たとえば発問を投げかけると、即座に手を挙げる子がいます。手をあげようかどうか、もじもじしながらあげたり下げたりしている子がいます。早くはありませんが、指先をそろえピンと伸ばした手のあげ方をする子がいます。

手のあげ方ひとつをとってみてもこうなのですから、子ども一人ひとりをとらえるということは大変難しいことなのでしょう。でも、そのことが難しいことであっても、今、目の前にいる子どもが、「どう思い、どうしようとしているのか」から始まるのだということを忘れてならないのだと思います。怖いのは、それであたりまえのように思って、足下がみえなくなってしまうことです。子どもをとらえ損ねたり、とらえたりする努力もしないまま自分では精一杯やっているつもりになってしまうことです。子どもに「私のことなどわかってくれない」という思いを持たせるのはそういう時です。

子どもは、どの子ども将来どの方向にどれだけ伸びていくかわからない可能性を秘めており、成長・発達していく過程的な存在です。ですから、人格や存在そのものを決めつけるような見方やかかわり方をしてはならないのです。

子どもの内面の奥までも共感的に理解しようと努力することによって、子どもを肯定的に見ることができ、一人ひとりの子を生かす場やチャンスが生まれてくるのだと思います。

3月に着任した校長の吾妻 敦です。子ども達のよりよい成長のため精一杯努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

地域の方のご協力で交通安全

3月3日(月)

安積地区地域サポートチームによる一斉パトロールを実施しました。地域の方に見守られて下校しました。皆様に感謝申し上げます。



おいしかったね、伊予柑

3月4日(火)

牛庭区長さんより市教委を通していただいた愛媛県産の伊予柑を給食の時間にいただきました。甘くておいしく、子ども達も喜んでいました。

